

製品名: レチノイン酸受容体 α ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe86220**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	2.2mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、 -20°C で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:51 kDa; Observed MW:55 kDa

抗原情報

遺伝子名	Retinoic Acid Receptor alpha
別名	RAR; NR1B1; RARalpha
遺伝子 ID	5914
SwissProt ID	P10276
免疫原	ヒトレチノイン酸受容体 α の組み換えタンパク質

背景

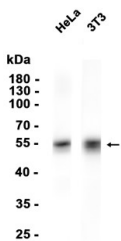
この遺伝子は核レチノイン酸受容体である。コードされているタンパク質、レチノイン酸受容体 α は、リガンド依存的に転写を制御

する。この遺伝子は、発生、分化、アポトーシス、顆粒球形成、そして時計遺伝子の転写の制御に関与することが示唆されている。この遺伝子座と他のいくつかの遺伝子座との間の転座は、急性前骨髄球性白血病と関連付けられている。この遺伝子座には、選択的スプライシングを受けた転写バリエーションが見つかっている。[RefSeq 提供、2010年9月]

研究分野

-

画像データ



レチノイン酸受容体アルファウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用して、HeLa、3T3 細胞抽出物のウエスタンブロット分析を行いました。